

# 宇城市高潮災害防止検討委員会提言

宇城市高潮災害防止検討委員会は、市及び関係機関、住民が協力し、高潮災害防止に向けて下記のような対策に取り組まれるよう提言する。

## 1 短期的課題

### 1) 水門操作判断基準の明確化

- ・多様な気象状況に迅速に対応できる水門操作判断基準の明確化

### 2) 水門操作に関わる行動ルールの確立

- ・操作者が安全かつ確実に水門操作するための操作や移動・待機に関するルールの確立

## 2 中長期的課題

### 1) 港川水門全閉時における浅井手川上流域の洪水対策の検討

### 2) 操作員の安全に配慮した待機・作業環境の整備

## 3 課題解消に向けた具体的取組み

### 1) 短期的課題への取り組み事項

#### a) 水門操作判断基準の明確化

- ・水門操作開始のタイミングについて、台風情報（進路・規模・速度・潮位・風速・降水量予測）と気象警報（高潮・大雨・洪水・暴風等の発表）など複数の情報を組み合わせた明確な判断基準を策定すること。
- ・判断基準は、過去データやシミュレーション結果等を踏まえ、早い段階での水門閉鎖とともに閉鎖後の上流域での洪水発生危険性も十分考慮したものとする。
- ・判断基準は、水門操作開始時の気象状況及び操作者の移動、待機、操作等の実行環境にも留意すること。

#### b) 水門操作に関わる行動ルールの確立

##### 水門操作マニュアル等の再整備

- ・上記判断基準に基づき、誰が、いつ、何を、どのように実行するかを簡潔かつ具体的に記載した操作マニュアルを整備すること。
- ・マニュアルにおいては、操作者の移動、待機、操作、退避等における安全性や迅速性、確実性等の確保に留意すること。

#### c) 「高潮災害防止総合行動計画」（仮称）の策定及び関係者との情報共有

- ・水門操作判断基準や水門操作マニュアルと連動した関係機関・住民の行動及びそのタイムラインを含んだ、高潮災害防止への総合的な対応計画を策定すること。
- ・計画策定段階から、住民との協議などを通じて、対策について関係機関や住民と十分に情報共有しておくこと。

### 2) 中長期的課題に対する検討事項

- ・浅井手川上流域の内水氾濫から生命・財産を守るために排水ポンプの強化や堤防の整備などを検討すること。
- ・水門操作員が操作室で待機する場合、データ取得のための機器や通信機器等の整備やトイレなどの待機環境の整備を検討すること。

平成28年8月19日

宇城市高潮災害防止検討委員会  
委員長 柿本竜治

